

景気ウォッチャー調査（2月）の概要

< 景気の現状判断DIの推移 >

	2010年10月	11月	12月	2011年1月	2月 (前月差)
各分野計	40.2	43.6	45.1	44.3	48.4 (4.1)
家計動向関連	39.2	42.4	44.5	42.4	47.3 (4.9)
企業動向関連	39.1	43.5	44.1	44.3	46.9 (2.6)
雇用関連	49.1	51.2	51.1	56.7	58.9 (2.2)

< 景気の先行き判断DIの推移 >

	2010年10月	11月	12月	2011年1月	2月 (前月差)
各分野計	41.1	41.4	43.9	47.2	47.2 (0.0)
家計動向関連	41.7	41.0	43.3	46.6	47.1 (0.5)
企業動向関連	38.7	39.9	43.4	46.6	44.9 (-1.7)
雇用関連	42.7	47.3	48.9	52.9	53.2 (0.3)

< 景気ウォッチャー（2011年2月調査）の現状判断コメント >

(:良、 :やや良、 :不変、 :やや悪、 x :悪)

[家計関連]プラス要因：天候の回復による来客数の増加

前月の大雪で客足は低迷したものの、天候も春らしくなってきて、春夏物ファッション、パレンティンギフトなどに動きが出ている(北陸=商店街)。

中旬以降では天候が良くなり、雪解けとともに来客数が伸びている(北陸=百貨店)。

[家計関連]プラス要因：自動車や家電販売が戻りつつあること

新車販売はエコカー購入補助金終了後の低迷から持ち直してきている。新型車投入の効果もあり、客の来店数及び成約数は増えている(東北=乗用車販売店)。

3か月前に比べると販売量は少ないものの、3月のエコポイント制度終了を前に、地デジ対応テレビへの購入意欲が高まり、動きが活発化している(近畿=家電量販店)。

[企業関連]プラス要因：海外からの受注増

最近を受注量、販売量共に、やや良い状況が続いている(近畿=電気機械器具製造業)。

売上は海外向けは回復傾向にあるものの、国内向けは依然として伸び悩んでおり厳しい状況である(中国=一般機械器具製造業)。

[企業関連]マイナス要因：原材料・燃料価格の上昇

原料の入手難、高騰で原価は上がっているものの、販売価格に転嫁できず、苦しい状態が続いている(南関東=繊維工業)。

[雇用関連]プラス要因：求人増加

新規求人の依頼が増加しており、補充より増員を背景としたものが増えている(中国=民間職業紹介機関)。

< 景気ウォッチャー（2011年2月調査）の先行き判断コメント >

(:良、 :やや良、 :不変、 :やや悪、 x :悪)

[家計関連]プラス要因：消費の改善の動きが続くこと等への期待

天候に左右されるなど安定感はないものの、右肩上がりになりつつあるため、先行きはやや良くなる(近畿=百貨店)。

身の回り品については、消費マインドが確実に上向いている(東北=百貨店)。

[家計関連]プラス要因：3月末の家電エコポイント終了前の駆け込み需要の期待

3月末のエコポイント終了前の駆け込み需要が期待できる(九州=家電量販店)。

[企業関連]マイナス要因：原材料・燃料価格上昇による採算悪化懸念

今後、コーヒーや小麦粉、油等の原材料価格の上昇が予想され、一時的な特需はあっても、その後は客の買上点数が減るなど影響が出てくる(東北=スーパー)。

中東情勢悪化やニュージーランド南部地震の影響、また、航空燃油サーチャージの上昇の影響により、海外行きを控える傾向になる恐れがある(四国=旅行代理店)。

[雇用関連]プラス要因：求人増加傾向

派遣社員を直雇用する動きや正社員を採用する動きが活発化しており、今後はやや良くなる(東海=人材派遣会社)。

新卒及び一般求人増加の傾向がみられる(九州=職業安定所)。

地域の経済

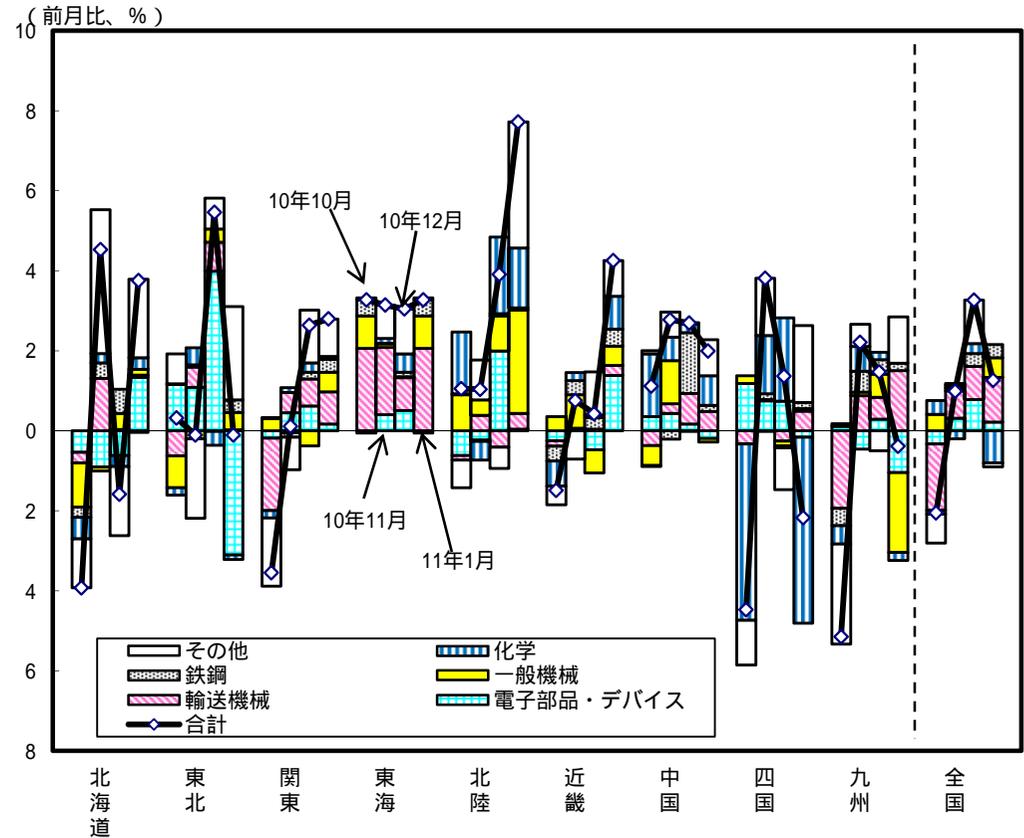
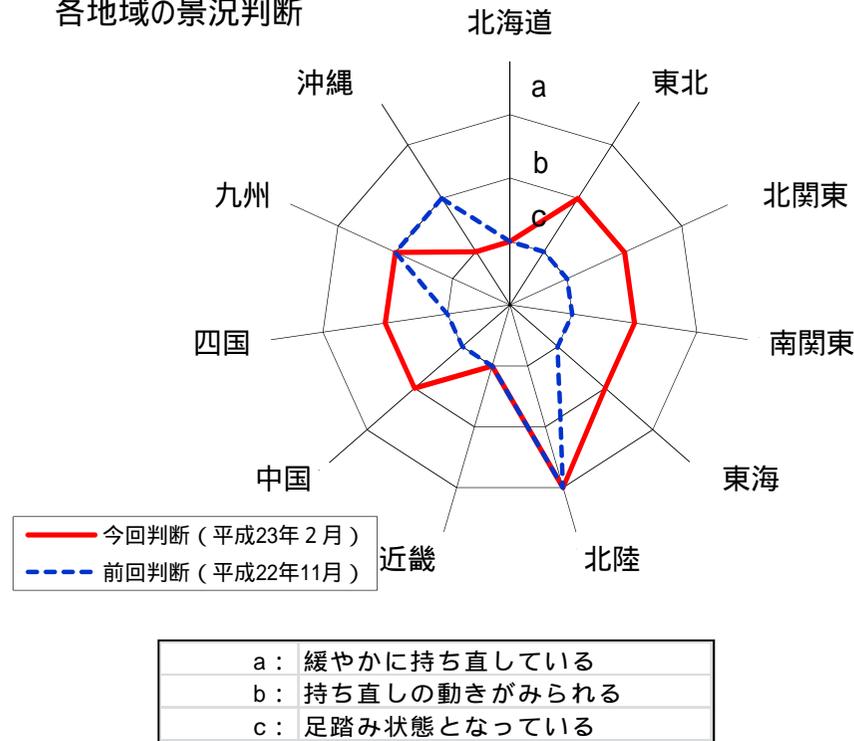
景況判断は5地域で引き上げ、1地域で引き下げ

生産は、このところ輸送機械がプラスに寄与

- 地域経済動向(2011年2月) -

- 鉱工業生産 前月比寄与度(10年10 11 12 11年1月) -

各地域の景況判断

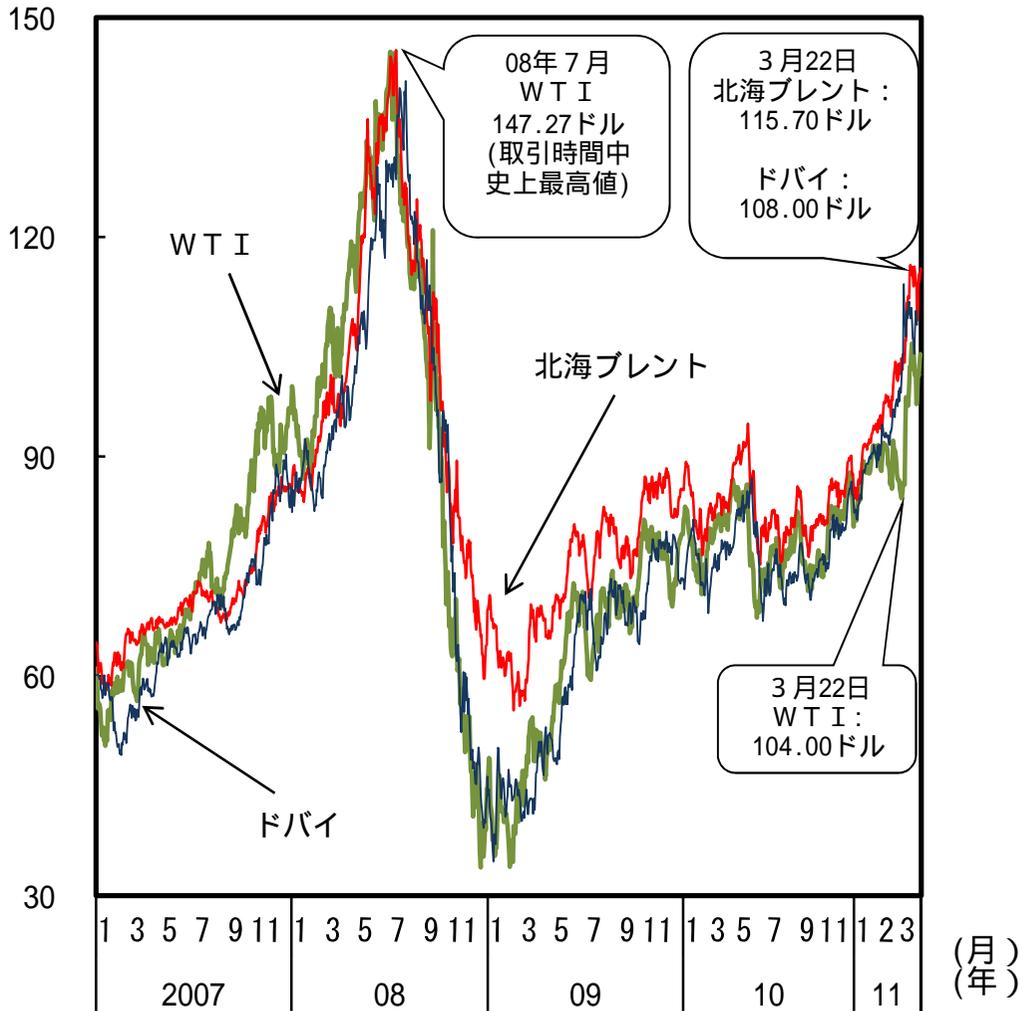


(備考) 各地域の鉱工業生産、消費、雇用等の指標及び各種の情報を基に内閣府が四半期に1度、各地域の景気動向を取りまとめたもの。

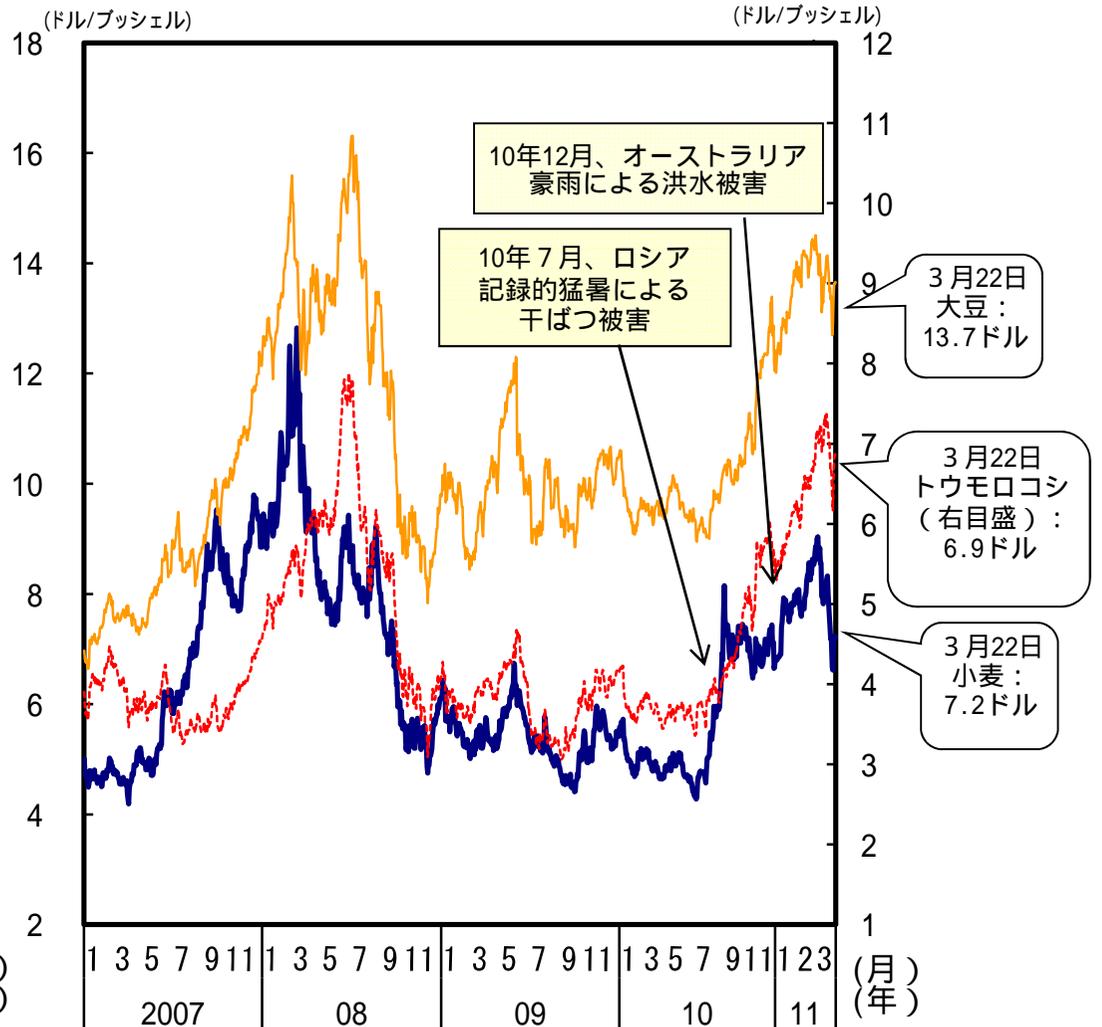
(備考) 経済産業省、各経済産業局「鉱工業生産動向」により作成。

商品市場

原油価格



農産物価格

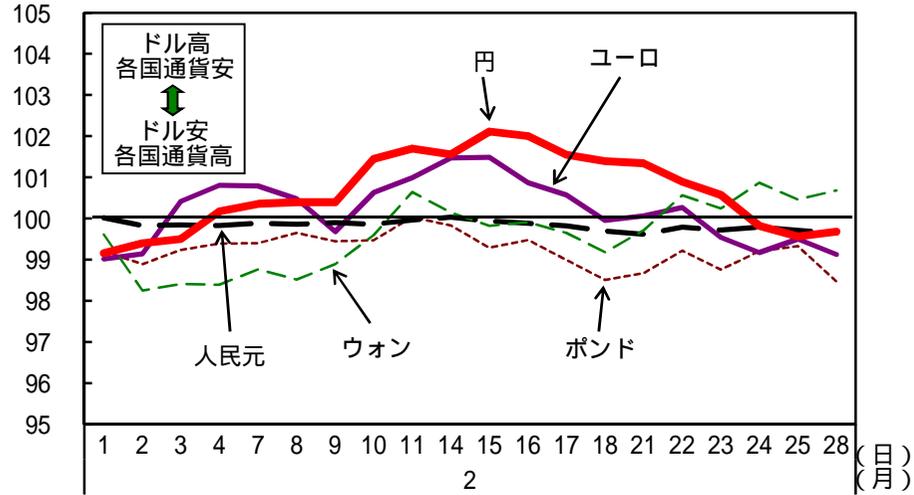


(備考) ブルームバーグより作成。

為替・株式市場

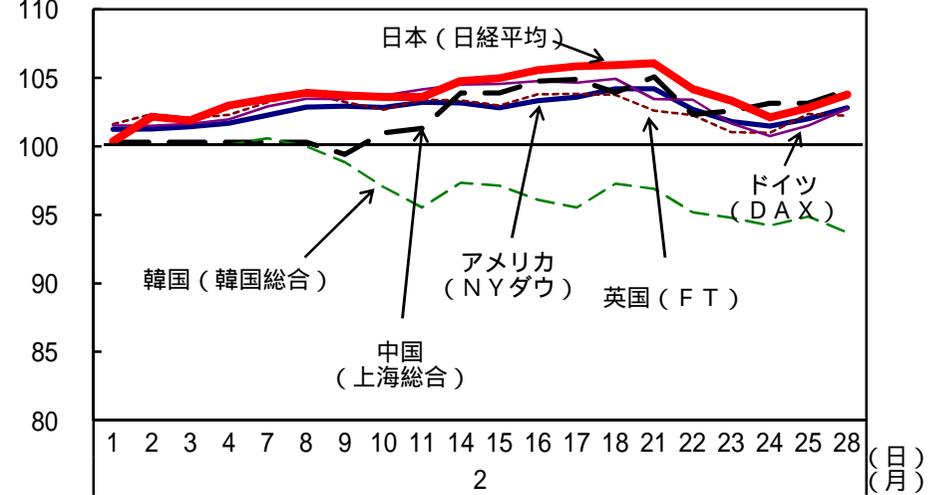
為替市場 (2 月)

(対ドルレート、



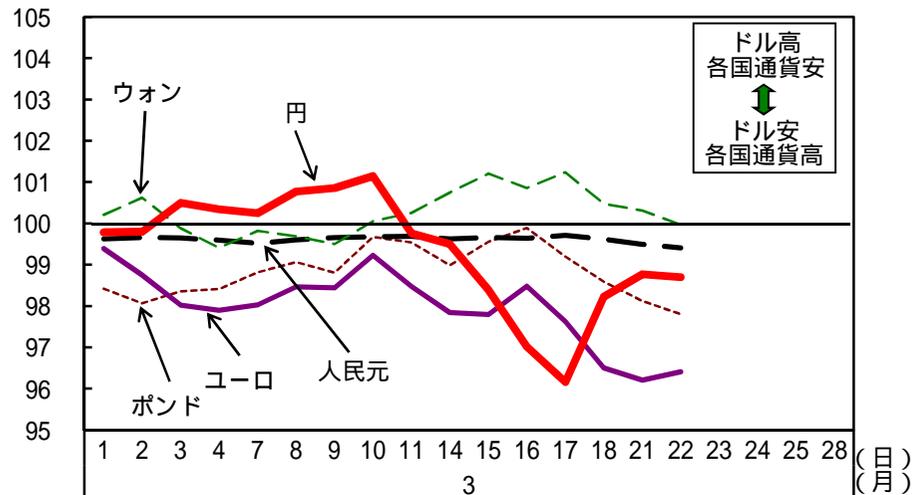
株式市場 (2 月)

(2011年1月31日 = 100)



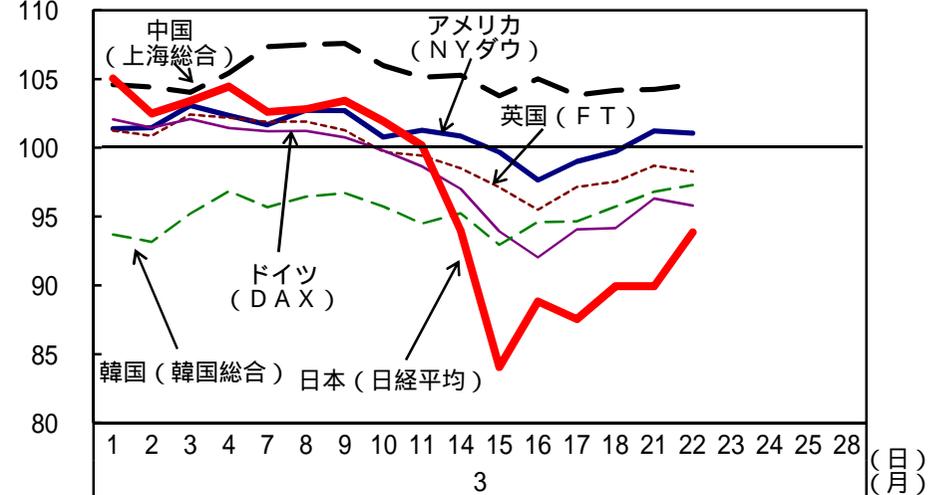
為替市場 (3 月)

(対ドルレート、



株式市場 (3 月)

(2011年1月31日 = 100)



(備考) ブルームバーグより作成。

(備考) ブルームバーグより作成。